

第1章 | 背景

1 21世紀は環境の時代

- 21世紀において、我が国あるいは地球規模における環境の保全が、何よりも重要なテーマとなっています。
- 環境の保全の1つの重要な要素として、「水」の役割が挙げられます。
- そして、「水」と密接不可分の関係にあって、我が国の食料の安定供給の観点からも重要視されるのが農林水産業です。

解説

2008年は、気候変動枠組条約第3回締約国会議、すなわち地球温暖化防止京都会議が開かれてから11年目になります。この気候変動枠組条約が調印された1992年のブラジルでの地球サミットでは、環境と開発に関するリオ宣言「アジェンダ21」が採択されました。これは環境保全と持続可能な開発のためにまとめられた20世紀最大の合意であるとされています。

このように、21世紀は、我が国あるいは地球規模における環境の保全が、何よりも重要なテーマとなっています。

環境の保全については様々な考え方がありますが、その重要な要素の1つとして「水」の役割が挙げられます。つまり、健全な水の循環が将来にわたり保たれていることが、環境保全の基本と考えます。

そして、この水循環と密接不可分の関係にあるのが、我が国の食料の安定供給の観点からも重要視しなければならない農林水産業であり、まさに青森県が最も得意とする分野です。

1992 環境と開発に関するリオ宣言（「アジェンダ21」）
1997 地球温暖化防止京都会議

環境保全が重要なテーマ

重要な役割

健全な水循環
環境の保全



農林水産業
食料の安定供給

我が国、世界への貢献

図1-1 21世紀は環境の時代

2 「攻めの農林水産業」を支える健全な水循環システム

- 本県が推進する「攻めの農林水産業」は、販売面を重視した農林水産業の振興策ですが、安全・安心な農林水産物を生産するためには、きれいな水資源を確保していくことが基本となります。
- このため、「攻めの農林水産業」では、「山・川・海をつなぐ『水循環システム』の再生・保全」を施策の重要な柱の1つに位置付けています。

解説

青森県では、農林水産業の一層の振興を図るため、平成16年度（2004年）から「攻めの農林水産業」に取り組んでいます。

「攻めの農林水産業」とは、消費者が求め、必要とする安全・安心で良質な農林水産物やその加工品を強力に売り込んでいく販売面を重視した振興策であり、その体系として、

- ①市場競争に打ち勝つ販売活動の強化
- ②安全・安心の青森産品づくり
- ③山・川・海をつなぐ「水循環システム」の再生・保全
- ④あおもり発 食文化・農村文化の発信
- ⑤農林水産業を担う革新的な経営体の育成
- ⑥農林水産資源を生かした新たな産業づくり

の6つの柱を立て、それぞれにおいて必要な施策を組み立てて、売れる青森の農林水産品づくりと販売促進に努めています。

消費者が求める安全・安心な農林水産物を生産し、農林水産業の持続的発展を図るためにには、その基礎となる「水資源」を再生・保全していくことが不可欠です。

このため、「攻めの農林水産業」では、「山・川・海をつなぐ『水循環システム』の再生・保全」を重要な柱の1つとして位置付けています。

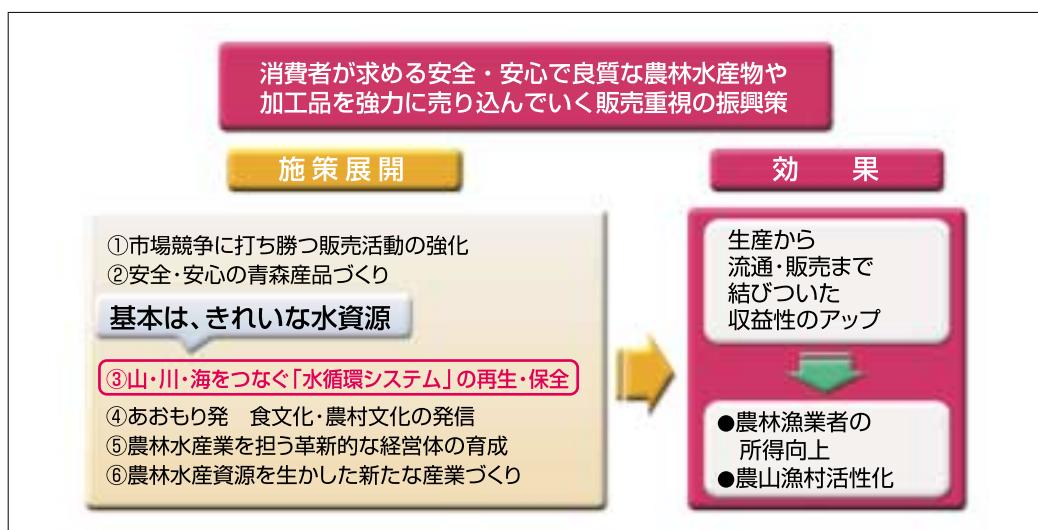


図1-2 「攻めの農林水産業」の推進

3 持続可能で自主自立の青森県づくり

- 本県では、未来を切り拓く自主自立の青森県づくりを進めていくための将来像として、「生活創造社会」を掲げています。
- 自主自立の青森県づくりとは、自らの足元をしっかりと見つめ、何ができるかを考え、自分たちで新しい価値を発見・創造し、打ち立てていくことです。
- 本県が有する風土・技術・人財¹など地域の持つあらゆる力を活用し、持続可能で自主自立の青森県づくりを進めることができます。

解説

青森県では、21世紀の中で確かな未来を切り拓く自主自立の青森県づくりを進めていくための将来像として、「生活創造社会－暮らしやすさのトップランナーをめざして－」を掲げ、その実現に向けて、青森県が有する風土・資源・人財など地域の持つあらゆる力を活用して進んでいくこととしています。

青森県は、かつてない厳しい時代に直面しています。我が国の姿・カタチや仕組みも地方主権へと大きく変容しようとしています。

このような時代の転換期にあって、青森県の未来を切り開いていくためには、自主自立の青森県づくりへと、意識や行動の転換を図っていくことが大切です。

自主自立の青森県づくりとは、自らの足元をしっかりと見つめ、何ができるかを考え、自分たちで新しい価値を発見・創造し、打ち立てていくことです。

これからは、県と県民が適切な役割を分担しながら、地域の人々が自ら考え、自ら実行することを基本的に、青森県が有する風土・技術・人財などの地域の持つあらゆる力を活用し、持続可能で自主自立の青森県づくりを進めることができます。

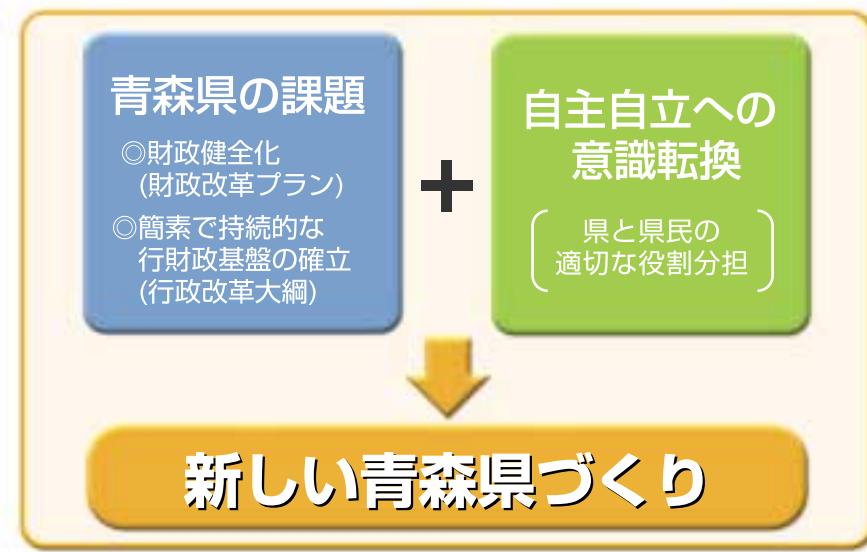


図1-3 生活創造推進プラン

¹ 「人財」とは、「人は財(たから)である」という意味を含めています。